

## 医事会計・宿日直・外来クランク業務委託契約書

愛媛県立南宇和病院長 ●●●●●●（以下「甲」という。）と  
\_\_\_\_\_（以下「乙」という。）は、次の条項により  
契約を締結する。

（委託業務の内容）

**第1条** 甲は、愛媛県立南宇和病院（以下「病院」という。）における医事会計・宿日直業務及び外来クランク業務（以下「業務」という。）を、別添「業務仕様書」により乙に委託し、乙はこれを受託する。

（委託の期間）

**第2条** 業務の委託期間（以下「委託期間」という。）は、令和6年4月1日から令和9年3月31日までとする。

2 前項の規定にかかわらず、翌年度以降において甲の歳入歳出予算の金額について減額又は削減があった場合は、この契約は解除するものとする。

（委託料）

**第3条** 業務の委託料（以下「委託料」という。）は、年額\_\_\_\_\_円  
（うち消費税及び地方消費税の額\_\_\_\_\_円）とする。

（契約保証金）

**第4条** 契約保証金は、\_\_\_\_\_する。

（権利義務の譲渡等の禁止）

**第5条** 乙は、この契約によって生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、貸し付け又は担保に供してはならない。ただし、あらかじめ書面により甲の承諾を得た場合は、この限りでない。

（再委託等の禁止）

**第6条** 乙は、業務の処理を他に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ書面により甲の承諾を得た場合は、この限りでない。

（業務実施計画書の提出）

**第7条** 乙は、契約締結後速やかに業務実施計画書を甲に提出し、甲の承認を受けるものとする。

（業務実施計画の遂行）

**第8条** 乙は、業務実施計画書に記載した事項について、これを誠実に遂行しなければならない。

(業務実施計画の変更)

**第9条** 乙は、業務実施計画書の内容を変更しようとするときは、事前に業務実施変更計画書を甲に提出し、甲の承認を受けるものとする。ただし、軽微な変更はこの限りでない。

(調査等)

**第10条** 甲は、必要と認めるときは、乙に対して業務の処理状況について調査し、指示を行い、又は報告を求めることができる。

(報告及び確認)

**第11条** 乙は、毎月の業務が完了したときは、遅滞なく甲に業務完了報告書を甲に提出し、甲の確認を受けるものとする。

(委託料の支払)

**第12条** 委託料の支払いは12回払いとし、毎月の支払額を金\_\_\_\_\_円とする。

2 乙は、毎月、業務完了の確認を受けた後、委託料の支払請求書を甲に提出するものとする。

3 甲は、前項の規定により支払請求書を受理したときは、その日から起算し30日以内に委託料を乙に支払うものとする。

(契約内容の変更)

**第13条** 次の各号の一に該当する場合は、甲・乙協議のうえ、契約を変更することができる。

(1) 業務量に著しい変更が生じた場合

(2) 経済変動又はやむを得ない理由により、委託料が著しく不相当と認められる場合

(3) その他甲が必要と認めた場合

(契約の解除)

**第14条** 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、この契約を直ちに解除することができる。

(1) この契約に違反したとき

(2) 故意又は過失により、甲に重大な損害を与えたとき

(3) 正当な理由がなく業務の履行を怠ったとき

(4) この契約の締結及び業務の履行に関して、不正な行為をしたとき又は甲の指示に従わなかったとき

(5) 業務を遂行することが困難であると認めたとき

(6) 乙又は乙の代表役員等、一般役員等若しくは経営に事実上参加し若しくは実質的に経営を支配している者が、暴力団関係者（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団の関係者をいい、愛媛県暴力団排除条例第2条第3号に規定する暴力団員等を含む。）であると認められるとき

2 甲は、前項の規定により契約を解除したときは、委託料の全部若しくは一部を

支払わず、又は既に支払った委託料の全部若しくは一部の返還を、乙に請求することができる。

- 3 第1項の規定に該当する場合のほか、甲又は乙が、この契約を解除しようとするときは、3ヶ月前までに相手方に対し書面をもって通知しなければならない。

(事務の引継ぎ)

**第15条** この契約を解除する場合、又は委託期間の満了等により継続しない場合は、乙は、甲の指示に従い、業務に停滞が生じないように適切かつ確実に、甲が指示する者に対して事務を引き継がなければならない。

(損害賠償)

**第16条** 乙は、その責に帰する理由により、業務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたときは、その損害を賠償しなければならない。

(秘密の保持)

**第17条** 乙は、業務の実施において知り得た秘密を他に漏らし、又は業務を遂行する目的以外に使用してはならない。また、個人情報の取扱いについては、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 前項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後も同様とする。

(使用者の義務)

**第18条** 乙は、この契約を履行するうえで生じる乙の従業員に対する使用者として法律に規定された全ての義務を負うものとする。

(経費の負担)

**第19条** 甲は、乙が業務の遂行に必要な次に掲げる経費を負担するものとする。

- (1) 通信運搬費
- (2) 光熱水費
- (3) 各種用紙に関する経費
- (4) 事務用品
- (5) その他必要と認めたもの

- 2 甲は、乙が業務を遂行するために必要と認めた施設及び備品類を、乙に無償で使用させることができる。

(施設管理)

**第20条** 乙は、甲が施設管理上必要と認めて行った指示、命令等に従わなければならない。

(その他)

**第21条** この契約書に定めのない事項については、愛媛県公営企業会計規程（昭和46年公営企業管理規程第9号）及び愛媛県会計規則（昭和45年愛媛県規則第18号）によるものとし、同規程及び同規則に定めのない事項又はこの契約の条項について疑義が生じた場合には、必要に応じて甲乙協議してこれを定めるものとする。

る。

この契約の証として本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

令和6年4月1日

甲 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2433番地1  
愛媛県立南宇和病院  
院 長 ●● ●●

乙